

新公民館について 熱く語った放談会

阪神大震災の悪夢も醒めぬ一月二十一日、竜丘公民館において新春放談会が開催され、公民館OBを中心に三〇数名の出席者により公民館建設について意見が交わされた。

今年の新春放談会は例年と趣向を変え、公民館建設について、平成になってからの公民館OBを中心に開催された。年度当初より公民館OB会を開催したかどうかという館長の考えがあり、懸案の新公民館建設に向けての活動が活発に行われるようになり、OBの意見を聞きたいとのことから開催された。



開会、関係役員あいさつと続き、意見交換となった。発表する内容を自分でまとめるため、予め受け付けで配布された、スピーチ控えの用紙にそれぞれの考えを記入し出席者全員が意見を発表した。

公民館建設について、①どんな公民館を目指したら良いでしょうか②どんな設備及び施設があればよいでしょうか③その他の三点について意見が交換された。まず、主催者の文化委員長の口切りによりそれぞれ意見を発表した。

また、時又地区では下水道の積み立てもしており、負担が大変という意見や、現施設で良いとの意見もありました。また、市議会では次は竜丘と答弁があったが、時期については、明確にならなかったため、地元の盛り上がりが必要であるので、もっとPRしなければとの意見もありました。

放談会と言ったこともあり、いろいろな意見が出たが、自分たちの施設ということでは地区民全員が真剣に考える時期に来ているのではなかろうか。

設備・施設については、冷暖房施設、図書館・民俗資料室・自由画展室・古墳やギフ蝶の展示室などの竜丘の特色を出した施設の要望がありました。また、福祉関連では身障者に配慮した設備を望む声もありました。更に現公民館が手狭なため、大ホールや大きな駐車場の要望もあり、これからの情報化社会に向けた情報の収集・発信のための設備をとの声もありました。

設備・施設については、冷暖房施設、図書館・民俗資料室・自由画展室・古墳やギフ蝶の展示室などの竜丘の特色を出した施設の要望がありました。また、福祉関連では身障者に配慮した設備を望む声もありました。更に現公民館が手狭なため、大ホールや大きな駐車場の要望もあり、これからの情報化社会に向けた情報の収集・発信のための設備をとの声もありました。

設備・施設については、冷暖房施設、図書館・民俗資料室・自由画展室・古墳やギフ蝶の展示室などの竜丘の特色を出した施設の要望がありました。また、福祉関連では身障者に配慮した設備を望む声もありました。更に現公民館が手狭なため、大ホールや大きな駐車場の要望もあり、これからの情報化社会に向けた情報の収集・発信のための設備をとの声もありました。

その他の点では、特に建設についての取り組みに意見が集中した。順番だから、建てるのではなく二十一世紀に向けた考えが必要、金をかけても長期的に使えるものを、現施設の利用計画をどうするか、などの意見が出された。また、時又地区では下水道の積み立てもしており、負担が大変という意見や、現施設で良いとの意見もありました。また、市議会では次は竜丘と答弁があったが、時期については、明確にならなかったため、地元の盛り上がりが必要であるので、もっとPRしなければとの意見もありました。

放談会と言ったこともあり、いろいろな意見が出たが、自分たちの施設ということでは地区民全員が真剣に考える時期に来ているのではなかろうか。

設備・施設については、冷暖房施設、図書館・民俗資料室・自由画展室・古墳やギフ蝶の展示室などの竜丘の特色を出した施設の要望がありました。また、福祉関連では身障者に配慮した設備を望む声もありました。更に現公民館が手狭なため、大ホールや大きな駐車場の要望もあり、これからの情報化社会に向けた情報の収集・発信のための設備をとの声もありました。

設備・施設については、冷暖房施設、図書館・民俗資料室・自由画展室・古墳やギフ蝶の展示室などの竜丘の特色を出した施設の要望がありました。また、福祉関連では身障者に配慮した設備を望む声もありました。更に現公民館が手狭なため、大ホールや大きな駐車場の要望もあり、これからの情報化社会に向けた情報の収集・発信のための設備をとの声もありました。

設備・施設については、冷暖房施設、図書館・民俗資料室・自由画展室・古墳やギフ蝶の展示室などの竜丘の特色を出した施設の要望がありました。また、福祉関連では身障者に配慮した設備を望む声もありました。更に現公民館が手狭なため、大ホールや大きな駐車場の要望もあり、これからの情報化社会に向けた情報の収集・発信のための設備をとの声もありました。

設備・施設については、冷暖房施設、図書館・民俗資料室・自由画展室・古墳やギフ蝶の展示室などの竜丘の特色を出した施設の要望がありました。また、福祉関連では身障者に配慮した設備を望む声もありました。更に現公民館が手狭なため、大ホールや大きな駐車場の要望もあり、これからの情報化社会に向けた情報の収集・発信のための設備をとの声もありました。

市農業祭に向け 実行委員会始まる

平成七年十一月十二日に、地場産業センターで行なわれる飯田市農業祭で、竜丘地区紹介が行なわれます。その実行委員会が、「竜丘地区農業地域マネージメント事業推進会議（会長・下平道啓農業委員）」の主催で、二月二日より始まりました。

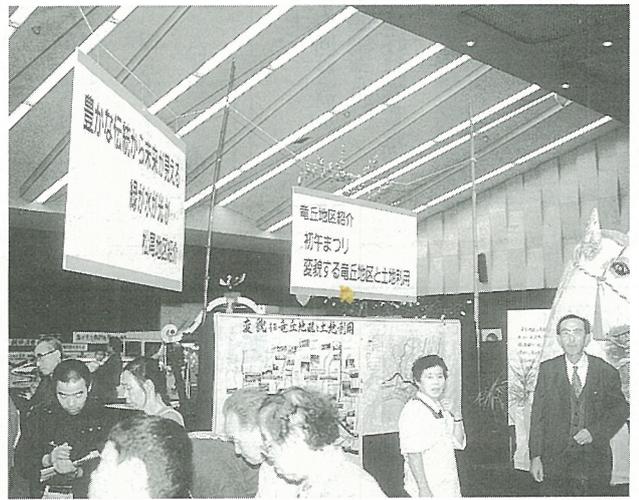
実行委員会では「みんなの祭」とする為の取り組み方や紹介する内容について、また地区紹介のテーマも考えていく事となりました。地区紹介では、駄料の鈴岡大鼓の発表、桐林の人形

の頭、時又の初牛・こだま様、長野原のお日待ち祭、上川路菊の会・こだま様・人形の頭などの展示、モデル集落の発表、古墳の立体模型の展示、農産物・加工品の販売など多彩な出展

が、計画・検討されています。水河期から生き続けてきた春の女神ギフチョウ。そして古墳の多い竜丘地区は古代から豊かで暮らしてきた地域だったのでないでしょうか。

飯田市農業祭は、農業の重要性や活性化を図ることが目的ですが、その中の地区紹介では、豊かな自然と農業、竜丘の昔・現在・未来など、他地区に誇れる竜丘をアピールしましょう。

飯田市農業祭は、農業の重要性や活性化を図ることが目的ですが、その中の地区紹介では、豊かな自然と農業、竜丘の昔・現在・未来など、他地区に誇れる竜丘をアピールしましょう。



昨年の市農業祭の風景

公民館建設研究進む

昨年末に公民館建設についてのアンケートの結果を館報の号外としてお知らせしましたが、今年に入ってから

建設委員会の事業は着々と進んでいます。まず、一月には委員会の部会として、市などの渉外や委員会全般に関する

とを扱う総務部会（十八名）用地に関する土地対策部会（十四名）建物・備品などに関する施設部会（十七名）資金・寄付に関する財務部会（十五名）の四部会が構成され、各正副部長や部会としての活動の進め方が確認されました。

また、三月一日には、山本と松尾の公民館の視察を行いました。両館ともそれぞれ特徴ある施設で、視察参加者は熱心に説明に聞き入っていました。視察項目は、用地・設計・設備などの面や、地区の合意形成や資金の面など多岐にわたりましたが、特に用地と資

金の面に質問が多く集まりました。視察後の反省会では「両館とも参考にすべき点は多いが、あくまで竜丘にふさわしい施設とする」「高齢者や身障者の方に使いやすい施設とすることが必要」などの意見が出されました。今後、この視察結果を基に、更に研究を続けていくことになっています。



ナイス アタック!

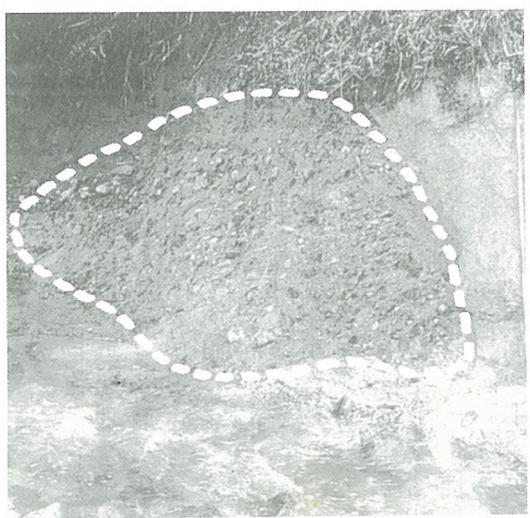
竜丘の女性大活躍 Cブロッリ冬季大会

去る三月五日、鼎中体育館、鼎体育館に於いて、Cブロッリ（竜丘・松尾・上久堅・下久堅・鼎）冬季体育大会が開催されました。

当日早朝から始められた試合では、各会場とも外の寒さとは対照的に、熱気のある試合が繰り広げられた。

竜丘からは、代表の長野原・時又が出場し、大きな声援の中、随所好プレー・珍プレーを見せてくれた。惜しくも、優勝は逃したものの女性の活躍が、特に目を引き、竜丘の女性のたくましさを感じることができた。

- 試合結果は次の通り
- △ママさんバレー▽
 - 一位・鼎、二位・長野原
 - 三位・下久堅
 - △男子ソフトバレー▽
 - 一位・下久堅、二位・上久堅、三位・松尾
 - △女子ソフトバレー▽
 - 一位・下久堅、二位・時又、三位・松尾



念通寺断層の露頭面（点線部分が断層面）

今注目されています “念通寺断層”

一市民大学特別講座より

阪神大震災を切っ掛けに、初め平坦であった土地が長い年月の間に幾度となく地震が起り、その都度少しずつ盛り上がり今では約百メートル隆起している。

念通寺断層は地質学的に見ると日本でも有数の断層であり、これ程はしっかりと形で見られる場所が数少ないらしい。その為これら付近では、より自然と調和のとれた基盤整備が求められる。

自然環境の保護は、地震予知と密接な関係があるらしい。今回地震の前兆として昼神温泉の湯温上昇や、諏訪湖周辺の地下水量増加など残念ながら後になって解ってきた。我々人間が自然と離れて生活する様にな

り、自然の音が聞こえなかつた典型だろう。最後に、地震と震災は違うらしい。兵庫県南部地震は人間がどうする事もできない天災であり、阪神大震災は人間が地震を想定した対策を持たずに開発を進めた為に起きた人災と言

この度の講座には実に多くの方が参加があったが、これは一過性のものに終わらせる事なく、天災を人災にしない為の様々な対策を、行政レベルで進めたいものである。